

扶 養 に 関 す る 協 議 書

区 分	氏 名	組 合 員 と の 続 柄	現 住 所
扶 養 を 受 け る 者	岡山 鶴子	母	△△市△△町〇-〇-〇

主 たる
扶 養 者 を
決 定 し た
理 由

母 岡山鶴子は現在無職であり、収入は年金の年額150万円のみである。父 亀男は、年金 140万円を受けながら農業をしていますが、農業収入が年々減少し、母を扶養することが難しくなりました。
母には長女 津山ももこがいるが、別で生計を立てており、母への生活費の援助は行っていない。
母は年金収入と私が帰省時に手渡す年100万円で生計を立てているため、私が主たる扶養者と決定した。

扶養義務者の状況を詳しく記入する。

上記の者の扶養について、私たち扶養する義務のある者が協議しましたところ、上記理由

により（氏名） 岡山 太郎 が主たる扶養者となることに決定しました。

令和 〇 年 〇 月 〇 日

扶養協議の日が認定日とな

現 住 所	扶 養 を 受 け る 者 と の 続 柄	職 業	氏 名
岡山市北区内山下2-4-6	長男	教諭	岡山 太郎 印
〇〇市△△町〇-〇-〇	長女	会社員	津山 ももこ 印
△△市△△町〇-〇-〇	夫	無職	岡山 亀男 印
			(印)
組合員と他の扶養義務者の記入・押印			(印)